

様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成23年度】

(①歴史・文化施設)

1 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

番号	1・2	施設名	掛川城天守閣・掛川城御殿			担当課名	地域支援課
区分		内容・説明					
1	施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川城条例				
		(2)施設設置目的	木造天守閣として復元された天守閣及び重要文化財掛川城御殿を市民に広く開放するとともに、掛川城の歴史文化的価値を顕彰し、もって市民文化の発展に寄与するため。				
		(3)施設が有する設備、機能の概要	天守閣【瓦葺、3層、内部4階(地上2階、塔屋2階)、総床面積304.96㎡】、御殿【木造瓦葺平屋、総床面積947㎡】				
		(4)施設建設年度	天守閣【平成5年(1995年)】、御殿【安政2年(1855年)～文久元年(1861年)】				
		(5)耐震性能の有無	天守閣【有】、御殿【未診断】				
		(6)将来予想される改修経費	御殿玄関礎石取替、御殿濡縁修繕、避雷針撤去新設 等				
		(7)指定管理者名	公益財団法人掛川市生涯学習振興公社				
		(8)指定期間	平成23年4月1日 から 平成26年3月31日 まで				
		(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度				
		(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 404千円)				
		(11)指定事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(H23年度事業費 95千円)				
		(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし				
		(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成23年度)				
区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
2	施設・設備ごと	(1)施設利用者数	111,154	105,908	111,113		
		入館者数(天守閣・御殿)	111,154	105,908	111,113		天守閣・御殿共通入館券

区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	188	176	233			
	(3)運営日数	362	362	363	362		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
		②臨時職員	11.0	12.0	13.0	13.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	20,118,473	17,688,530	18,659,157	19,311,000	
	②印刷費	49,770	0	220,500	100,000	
	③通信費	306,014	319,457	280,631	315,000	電話料、郵便料、他
	④事務用品、旅費、図書費など	54,474	51,160	9,028	124,000	
	⑤借上料	246,504	273,420	273,420	274,000	OA機器
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	9,900	18,150	1,030,751	872,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	109,311	253,242	5,447,768	630,000	広告料、手数料、積立金、他
	計	20,894,446	18,603,959	25,921,255	21,626,000	
対前年度増減率			△ 11.0	39.3	△ 16.6	
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	9,110,818	8,436,450	7,547,600	9,602,000	
	天守閣消防設備保守点検業務	155,400	155,400	148,050	156,000	
	天守閣警備保障業務	313,740	304,920	304,920	305,000	
	御殿消防設備保守点検業務	278,250	278,250	264,600	279,000	
	御殿警備保障業務	487,620	475,020	475,020	476,000	
	天守閣・御殿清掃業務	2,016,000	2,016,000	1,008,000	2,016,000	
	天守閣・御殿保安業務	4,292,151	4,111,256	4,408,235	4,590,000	
	その他	1,567,657	1,095,604	938,775	1,780,000	天守閣非常通報装置点検、浄化槽管理点検、事務所警備保障、庭木剪定、除草業務

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	1,226,098	3,251,220	1,283,500	980,000	
	③光熱水費	633,332	540,279	533,244	636,000	電気、ガス、水道
	④燃料費	23,341	21,331	24,816	30,000	
	⑤清掃費					上記管理委託費に含む。
	⑥保守点検費					上記管理委託費に含む。
	⑦その他(施設消耗品)	732,965	766,761	943,188	250,000	消耗品費、原材料費
	計	11,726,554	13,016,041	10,332,348	11,498,000	
	対前年度増減率		11.0	△ 20.6	11.3	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		32,621,000	31,620,000	36,253,603	33,124,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		64.1	58.8	71.5	65.3	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		28,966,000	27,112,380	36,372,824		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		138.6	145.7	140.3		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	28,966,000	27,112,380		※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	32,621,000	31,620,000		
a)-b)	△ 3,655,000	△ 4,507,620	0	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入			36,372,824	H23/4/1入館料改定
b) 指定管理料			1,000,000	
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入			341,010	
e) その他収入			567	
合計	0	0	37,714,401	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	協定書及び業務仕様書に基づき、機器点検や警備等の業務委託の実施や必要従事職員数の確保など施設を適切かつ安全に管理運営するための業務を実施。 また、施設の無料開放日の設定や施設を利用した各種の展示や催しなど、利用者サービスの向上や市民文化の発展に努めた。	引き続き、施設の保全及び利用者の安全並びに施設の歴史的価値の確保をしながら、利用者サービスの向上を図る管理運営に努める。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	一般入館料改定(100円値上げ)の影響が懸念されたが、積極的な自主事業の展開等により、前年度対比約5%の入館者数の増となった。 また、利用者アンケートでは、約30%が複数回利用者となっており、職員対応満足度(約86%)とともに利用者に概ね良好な満足感を提供していると言える。	利用者アンケートの活用による自主事業の見直しや再構築を行うことで、施設見学に付加価値を加えた利用者満足度の高い事業の実施をしていく。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として收受させることができる制度。	管理運営費は、25年度に計画している大型事業のための積立金(5,000千円)を除けば、トータルコストにおいて若干の経費削減が図られた。ただし、運営コストにおいては、公課費の計上(指定管理者の会計見直しによる)や臨時職員の増により前年度対比増となった。	利用促進のための自主事業の積極的な展開は、人件費への影響が出やすい面がある。利用料金制の利点を活かし、収支バランスを考えつつの管理運営に努める。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	市のシンボリック施設としての面から、景観、美観に配慮した小修繕を実施し、施設の価値の維持に努めた。	市のシンボリック施設として、また貴重な文化財として、後世に残すべき施設であることを念頭に管理をしていく。 また、掛川城公園内の各施設の管理一体化による経費削減の可能性について検討していく。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	積極的な自主事業を展開することで、利用者増を図っている。 また、設備の維持管理については、消防設備等の点検(委託)や職員による目視点検等を実施し、必要な報告、協議等を担当課に行っている。	歴史文化ゾーンや中心市街地、商店街との連携による施設単独でなくエリアとしての発展を探る。 御殿の修繕については、教育委員会との協議、連携により修繕計画を立てる。

5 その他自由意見